

県内景況は、コロナ禍で低迷続く

国等の需要喚起策の効果が一部にあるものの依然として厳しい

～景況 DI 値前月比 28.9 ポイント低下、前年同月比 73.7 ポイント低下～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 9月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比では78.9ポイント低下。非製造業では、前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比では47.4ポイント低下。

在庫数量 製造業では、DI 値前月比で10.5ポイント低下、前年同月比では26.3ポイント低下。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では16.6ポイント低下。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比で5.2ポイント低下、前年同月比では21.0ポイント低下。非製造業では、DI 値前月比で26.3ポイント低下、前年同月比では5.3ポイント低下。

取引条件 製造業では、DI 値前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比では同水準。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では26.3ポイント低下。

収益状況 製造業では、DI 値前月比で10.5ポイント低下、前年同月比では73.6ポイント低下。非製造業では、前月比で21.0ポイント低下、前年同月比では52.7ポイント低下。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比で10.5ポイント上昇、前年同月比では31.6ポイント低下。非製造業では、前月比で31.6ポイント低下、前年同月比では52.6ポイント低下。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では26.3ポイント低下。非製造業では、前月比で10.5ポイント低下、前年同月比では26.3ポイント低下。

景況 製造業では、DI 値前月比で26.3ポイント低下、前年同月比では73.7ポイント低下。非製造業では、前月比で31.5ポイント低下、前年同月比では73.7ポイント低下。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比で28.9ポイント低下、前年同月比では73.7ポイント低下となった。製造業では、GoTo トラベル等需要喚起策に伴い、観光に関連する食料品、印刷業等で若干改善の動きが見えたが、繊維工業、金属加工、金属熱処理、電気機械器具等ではコロナ禍による不安定な受注が続いている。非製造業では、卸売業、運輸業等では厳しさが増しているが、GoTo トラベル等需要喚起策により旅館・観光関連で予約状況が改善され、商店街でも徐々に人出が戻ってきている。県内景況はコロナ禍で低迷が続いており、国等の需要喚起策の効果が一部にあるものの、依然として厳しい状況が続いている。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

9月の全国倒産は、件数602件と、2カ月連続の前年同月比減少、負債総額679億9,600万円（負債総額1,000万円以上）で、2カ月連続の前年同月比減少。比較可能な2000年以降では、2020年2月に次ぐ2番目の低水準となった。不況型倒産の合計は470件となり2カ月連続の前年同月比減少、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は418件、構成比は69.4%を占めた。

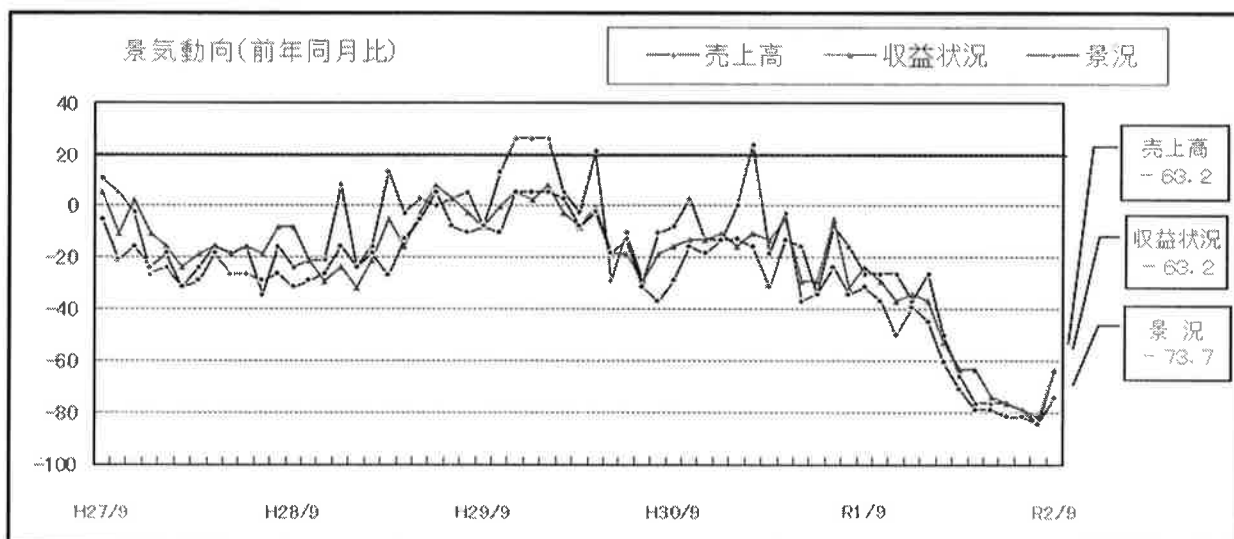
一方、9月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件（前月3件）、負債総額は0円（前月4億7,800万円）で、負債総額1,000万円以上の法的手続きによる倒産が発生しなかったのは、2020年1月以来8カ月ぶりとなった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報8月分」）

鳥取県の8月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.20倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.04倍）で、前月より0.06ポイント低下した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.10倍、米子所1.29倍、倉吉所1.18倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.08倍（季節調整値）で、前月を0.34ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比30.6%減少し、有効求人数は28.7%の減少となった。産業別に前年同月と比較すると、公務・その他（19.3%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比13.8%減少し、有効求職者数は2.0%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.22倍で、前年同月を0.02ポイント下回った。新規求人数は前年同月を32.4%下回った。



9月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	42.1%	36.8%	5.3 52.7	42.1%	36.8%	5.3 10.5	42.1%	36.8%	5.3 31.6
(2) 在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	25.0%	25.0%	0.0 41.7	12.9%	19.4%	-6.5 16.1
(3) 販売価格	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	0.0%	26.3%	-26.3 -31.6	2.6%	18.4%	-15.8 -18.4
(4) 取引条件	5.3%	0.0%	5.3 5.3	5.3%	5.3%	0.0 5.2	5.3%	2.6%	2.7 5.4
(5) 収益状況	15.8%	26.3%	-10.5 21.1	15.8%	36.8%	-21.0 0.0	15.8%	31.6%	-15.8 10.5
(6) 資金繰り	10.5%	0.0%	10.5 15.8	0.0%	31.6%	-31.6 -5.3	5.3%	15.8%	-10.5 5.3
(7) 設備操業度	21.1%	10.5%	10.6 26.4						
(8) 雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 0.0
(9) 景 況	10.5%	36.8%	-26.3 5.3	5.3%	36.8%	-31.5 -15.7	7.9%	36.8%	-28.9 -5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	0.0%	78.9%	-78.9 10.6	15.8%	63.2%	-47.4 31.5	7.9%	71.1%	-63.2 20.7
(2) 在庫数量	0.0%	26.3%	-26.3 -15.7	16.7%	33.3%	-16.6 8.4	6.5%	29.0%	-22.5 -6.4
(3) 販売価格	5.3%	26.3%	-21.0 5.3	15.8%	21.1%	-5.3 0.0	10.5%	23.7%	-13.2 2.6
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 15.8	0.0%	26.3%	-26.3 0.0	2.6%	15.8%	-13.2 7.9
(5) 収益状況	5.3%	78.9%	-73.6 5.3	10.5%	63.2%	-52.7 31.5	7.9%	71.1%	-63.2 18.4
(6) 資金繰り	10.5%	42.1%	-31.6 15.8	0.0%	52.6%	-52.6 15.8	5.3%	47.4%	-42.1 15.8
(7) 設備操業度	0.0%	42.1%	-42.1 15.8						
(8) 雇用人員	5.3%	31.6%	-26.3 -10.5	0.0%	26.3%	-26.3 10.5	2.6%	28.9%	-26.3 0.0
(9) 景 況	0.0%	73.7%	-73.7 10.5	0.0%	73.7%	-73.7 10.5	0.0%	73.7%	-73.7 10.5

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ Go To トラベルにより観光地への入込客が少しずつ戻ってきており、土産品製造業にとって明るい兆しとなった。飲食店、ホテル旅館向けについても同様の動きが見られる。

醬 油⇒ スーパー向け商品はコロナ禍前まで回復してきたが、業務用や土産物関連は依然として低迷している。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、コロナ禍により受注状況が良くない事業者が多く、防護服やマスクなどの生産で埋めている。座席シート縫製では、自動車生産ラインの稼働により、座席シートの発注も徐々に増えてきてはいるが、防護服やマスクなど新型コロナ関連製品の売上に依存している状況は続いている。

ニット製品⇒ アフターコロナに向けての衣料小売の国内回帰の動きはほとんどなく、輸入品が回復しつつある。国内工場は、防護服やマスクなどの医療分野での操業度維持が途切れると大変苦しい状況となる。

【家具装備品】

⇒ 単価の安い商品が主流であったが、最近はソファなどリビング関連の高級品も少しずつだが出てきている。新型コロナ感染対策などに注力し、新製品開発に繋げていきたい。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で同水準だが製材品の生産量は前月比で減少。合板の生産量も前月比やや減少。住宅着工数は持家系、貸家系ともに上向いてきてはいるが、今後持ち直しに向かうかは不透明。木材需要の掘り起こしが引き続き重要。プレカット加工の稼働率は、前月比30%増加、前年同月比10%増加となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 少しずつではあるが、受注量が戻ってきたが、まだまだ例年通りの売上にはなっていない。これからの時期、年間を通しての一番の繁忙期となるため、さらなる売上回復を期待する。

【印 刷】

⇒ Go To トラベルなど好転に向かう気配や、新聞折込みが増えて良い方向に向かっている。少人数のイベント開催に向けた準備も進み、アフターコロナの中での印刷や広告制作、デザイン制作の形が見えつつある。販売価格を上げる努力をしているが、上昇と言えるほどではない。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 9月の生コン出荷量は、前年同月比で102%。地区別の出荷状況は、東部地区84%、中部地区88%、西部地区131%。運輸担当や

若手技術者の人材不足が常態化している。各工場ともに設備の老朽化が進んでいるものの、需要の先行き予測が見えず経営計画は難しい。西部地区は受注残もあり、当分の間の需要は旺盛ながら、東部・中部は大型プロジェクトがなく、秋以降の需要減少は大きく大変危惧している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県外物件を確保出来ている事業所は仕事があるが、県内中心の事業所は物件が少ないため、仕事の確保が難しくなっている。機械加工は、新型コロナ禍により、県東部の得意先の休業（雇用調整助成金申請）が続いている。少しずつ休業日数が減って、受注を確保している事業所もあるがまだまだ戻っていない。

鉄骨加工⇒ 主要な事業所は年内の山積み確保しているが、夏からの受注単価下落と建設資材の主力製品H形鋼の価格上昇により収益状況は大変厳しい。乏しい物件数に対しての競合が増え、また元請け業者の受注競争もあり、単価の上昇が今期は見込めない。

金属熱処理⇒ 8月は稼働率が低かったこともあり9月の受注は30%以上改善した。特にエネルギー関連部品については、過去最高の受注量となった。また、建設機械や農業機械はやや持ち直しているが、かつての受注量には至っていない。特に自動車関連部品の動きが殆ど停止したままである。前年同月比では15%以上の減収であり、前年度並みの回復は厳しい。顧客による格差は拡大している。どの地域も自動車を中心であり、一部の人気車種を除いては引き続き低迷している。

【電気機械器具】

⇒ 部材の調達状況は順調に推移してきているが、受注が不安定でまだ先行きが見えない。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ コロナ禍の影響で、全体的に低調。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加。果物類が増加傾向にあり、秋の味覚のシーズンに期待している。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加。ホテルや旅館などサービス業の水産物消費回復に期待している。

中部地区⇒ 事務機器について、見込み案件が少なく受注も少ない。一般企業はコロナ感染対策品が多く、事務機器投資は見合わせ傾向。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等による売上低下が見られる。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水産物⇒ 巻き網漁は極小イワシ・カタクチイワシの混獲漁続き昨年を上回る水揚げとなった。多くは鮮魚対象とならず養殖魚向けの餌料として凍結されたが、新型コロナ禍での養殖業界不振から給餌調整もあるようで荷動きとしては低調で推移した。近海魚については真鯛類が減少したがハタハタ・カレイ類の水揚げは例年並みとなった。紅ズワイガニ漁は解禁時

に台風が重なり 1 週間遅れの初水揚げとなり月間の水揚量は昨年の 3 割程度減少したことと、Go To トラベル・Go To イートの効果から引き合いが高まり浜値段は徐々に上昇し傾向にある。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況と古紙の市況は、先月末と変わらず横ばい状態で月末を迎えた。非鉄金属は発生が悪いため当面は強含みの気配を保つ見通し。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、Go To トラベル等で自粛ムードは緩みつつあるが、昨年に比べると収益状況は全体的に厳しい。来街者も少ない。大型連休中は県外客が増え、飲食店も少しずつ戻ってきたが利益が出るほどではない。商店街へのイベントには人出は戻ってきているが、消費に繋がっていない部分が多い。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、少しずつではあるが、人の流れが増えているが、コロナ禍により、以前の平常時の状態に戻るのには時間がかかる。街に人を呼び込む「#We love GINZA」プロジェクトの実施により、月 1 回のペースでイベントに取り組み、街に人を呼び込む仕掛けをしている。10月4日には『福高祭 2020』を実施する。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、引き続きコロナ禍により厳しい状況が続いている。新たなリーダーの下、国も経済の立て直しを図っており、年内のイベント開催は不可能な現状から少しずつ明るい兆しが見え始めた。

境港市の水産物小売は、9月に入り、紅ズワイガニの水揚げが始まったことにより、観光客は徐々に戻ってきているようにも見える。大型連休は今までにない人出となった。徐々に経済活動が再開しているものの、これまでのマイナスは大きく、今後感染症と共存していく「ウィズコロナ」時代の生活は先行き不透明であり、まだまだ気が抜けない。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、大型連休は GoTo トラベルもあり交通渋滞が発生するほどの盛況ぶりで、観光客は大幅に増加、売上高も前年同月比で微増となった。

米子市のホテル・旅館では、コロナ禍の影響もあり前年同月比で売上高は減少したが、GoTo トラベルにより旅行客が高単価なプランへとシフトしている傾向にあり収益状況は好転した。業界全体では、団体客が少なく 3 密を避けるため予約は控えめにしているが、GoTo トラベルの効果は出ており、10月以降の予約状況に回復基調が見受けられる。

三朝温泉では、GoTo トラベルにより 11月12月の予約が急に入ってきており、人手不足にもなることも懸念される。予約単価も上昇しているため今後の売上増加も見込められる。

大山では、売上高は、前月比で増加、前年同月比で減少。コロナ禍の影響により資金繰りは悪化している。

【自動車整備業】

⇒ 乗用車の新車販売実績は、普通自動車で前年同月比 20%の減少、

軽自動車は同 11% 減少。普通貨物自動車は同 13% の減少、軽貨物自動車は同 19% 減少。中古車と継続検査台数は普通車が同 9% 増加、軽自動車は 4% 減少。9 月は稼働日数の関係から前月比では増加となっているが、前年比ではいまだ改善されていない。コロナ禍への対策・対応が今後の自動車業界に大きな影響を与えていく。

【建設業】

⇒ 8 月の県内公共工事発注は、請負金額 97 億円（前年同月比 15% 増）、件数 196 件（同 1% 減）。年度累計（4 月～8 月）は、請負金額 566 億円（前年同月比 6% 増）、件数 892 件（同 13% 減）。設備投資では民間設備投資の動きが鈍く、大型工事の減少によりマイナス推移が続くも、住宅建設では持家・貸家ともにプラスとなり全体でも 3 カ月連続のプラスとなった。基調としては、厳しい状況の中、下げ止まりつつあるものの、先行きの改善にはなお時間を要するとみられ、引き続き防災・減災対策と併せた公共事業の促進が求められる。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向（9 月）は、件数 216 件（前年同月比 1% 増）、請負金額 117 億円（同 5% 増）となった。請負金額地区別状況（9 月末累計）は、東部地区（前年対比 17% 増）、八頭地区（同 14% 減）、中部地区（同 24% 減）、西部地区（同 24% 増）、日野地区（10% 減）となった。

8 月の鳥取県新設住宅着工戸数は 256 戸（持家 158 戸、貸家 98 戸）で、前月比 3% 減少、前年同月比 59% 増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 製造業などの出荷量は概ね横ばい。青果物、新米の輸送を期待していたが、農産物の輸送が遅れていて相対的に荷物は低調な動きとなっている。復路荷物の情報量も前月に引き続き低調で荷物が不足していて非効率な運行が多くなっている。売上高は、前月比で不変、前年同月比で大幅な減少となった。燃料価格は横ばいで推移しているが、収益状況、資金繰りは厳しい。

西部地区⇒ 梅雨の長雨、猛暑の影響で県特産の二十世紀梨出荷量は激減した。製造業においても先月より出荷量は、関西圏を中心にやや持ち直しはしたものの微増に留まった。復路荷物の動きも関西圏を中心に低調。コロナとの共生で、人の交流が少しずつ盛んになり始めてきた。大手外食産業などでの消費により米を中心に物流が活潑になることを期待したい。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・各種支援策における申請手続きの簡素化。【金属熱処理業】
- ・金融支援などまだまだ中小企業への支援が必要。【商店街】
- ・ウィズコロナ新時代への挑戦にご支援を。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2019年				2020年									前年との増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上高	製造業	15.7	-10.5	-21.0	-21.0	-42.1	-15.8	-63.1	-78.9	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	5.3	-10.4
	非製造業	-5.3	-15.7	-15.7	-26.3	-68.4	-21.0	-36.9	-68.4	-52.6	10.5	0.0	-5.2	5.3	10.6
	全業種	5.3	-13.2	-18.4	-23.7	-55.3	-18.5	-50.0	-73.7	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	5.3	0.0
在庫数量	製造業	-15.8	-21.1	-10.5	-5.2	-10.5	-21.0	0.0	0.0	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5	5.3
	非製造業	0.0	0.0	-16.7	-16.7	-25.0	-8.3	-8.3	-16.7	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	0.0	0.0
	全業種	-9.7	-12.9	-12.9	-9.7	-16.1	-16.1	-3.2	-22.6	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-6.5	3.2
販売価格	製造業	5.3	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-10.5
	非製造業	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-26.3	-21.0
	全業種	0.0	-7.9	-7.9	-2.6	-13.2	-7.9	-21.0	-18.4	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-15.8	-15.8
取引条件	製造業	-5.3	-10.5	0.0	0.0	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	10.6
	非製造業	0.0	0.0	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-21.1	-26.3	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0
	全業種	-2.6	-5.3	0.0	-2.6	-5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	2.7	5.3
収益状況	製造業	-21.0	-26.3	-31.5	-42.1	-42.1	-21.0	-52.6	-47.3	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	-10.5	10.5
	非製造業	-10.6	-10.5	-5.3	-31.6	-52.6	-26.3	-52.7	-73.7	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-21.0	-10.4
	全業種	-15.8	-18.4	-18.4	-36.8	-47.4	-23.6	-52.6	-60.6	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-15.8	0.0
資金繰り	製造業	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-31.6	-21.0	-36.8	-42.1	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	10.5	26.3
	非製造業	-10.5	-15.8	-15.8	-26.3	-26.3	-42.1	-57.9	-63.2	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-31.6	-21.1
	全業種	-13.2	-15.8	-28.9	-31.6	-28.9	-31.6	-47.4	-52.7	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-10.5	2.7
設備操業度	製造業	0.0	-15.8	-15.8	-10.5	-15.8	-10.6	-26.3	-57.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	10.6	10.6
雇用人員	製造業	0.0	-10.5	5.2	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-5.2	-5.3	-10.5	-5.2	-26.3	-15.8	-26.3	-31.5	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3
	全業種	-2.6	-7.9	-2.6	0.0	-18.5	-13.2	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7
景況	製造業	-21.1	-31.5	-57.9	-52.6	-52.6	-47.4	-57.9	-73.7	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	-26.3	-5.2
	非製造業	-42.1	-26.3	-31.6	-42.1	-57.9	-63.2	-57.9	-78.9	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	-31.5	10.6
	全業種	-31.5	-28.9	-44.7	-47.4	-55.3	-55.3	-57.9	-76.3	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	-28.9	2.6

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2019年				2020年									前年との 増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売 上 高	製 造 業	-31.6	-36.8	-26.3	-26.3	-15.8	-47.4	-78.9	-78.9	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-78.9	-47.3
	非製造業	-21.0	-15.8	-26.3	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-73.7	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-47.4	-26.4
	全 業 種	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-26.3	-50.0	-65.8	-76.3	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-63.2	-36.9
在庫数量	製 造 業	-21.0	-26.3	-10.5	-15.8	-15.8	-26.3	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-26.3	-5.3
	非製造業	-8.4	-16.7	-16.7	-16.7	-25.0	-33.3	-33.4	-16.7	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	-16.6	-8.2
	全 業 種	-16.1	-22.6	-12.9	-16.1	-19.4	-29.0	-9.7	-16.1	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	-22.5	-6.4
販売価格	製 造 業	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0	-26.2
	非製造業	-10.5	-5.3	5.3	0.0	-15.8	-21.1	-31.5	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3	5.2
	全 業 種	-2.6	-7.9	0.0	-2.6	-13.1	-13.2	-18.4	-18.4	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6
取引条件	製 造 業	-5.3	-10.5	0.0	0.0	-10.5	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	0.0	5.3
	非製造業	-5.3	0.0	-5.3	-10.5	-5.3	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0
	全 業 種	-5.3	-5.3	-2.6	-5.3	-7.9	-7.9	-21.1	-23.7	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-13.2	-7.9
収益状況	製 造 業	-31.6	-42.1	-42.1	-31.5	-47.3	-57.9	-57.9	-57.9	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-73.6	-42.0
	非製造業	-15.8	-15.7	-31.5	-36.9	-26.3	-47.4	-68.4	-68.4	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7	-36.9
	全 業 種	-23.7	-28.9	-36.8	-34.2	-36.8	-52.6	-63.1	-63.1	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-63.2	-39.5
資金繰り	製 造 業	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-26.8	-36.8	-42.1	-47.4	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-31.6	-5.3
	非製造業	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-15.8	-36.8	-57.9	-63.2	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-52.6	-57.8
	全 業 種	-10.5	-18.5	-26.3	-31.6	-26.3	-36.9	-50.0	-55.3	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1	-31.6
設備操業度	製 造 業	-10.5	-15.7	-10.5	5.2	-5.2	-21.1	-31.5	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1	-31.6
雇用人員	製 造 業	5.3	10.6	15.8	10.6	5.3	-5.3	-5.2	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-31.6
	非製造業	-10.5	-5.2	-10.5	-10.5	-21.1	-21.1	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8
	全 業 種	-2.7	2.7	2.6	0.0	-7.9	-13.1	-15.8	-28.9	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3	-23.6
景 況	製 造 業	-31.6	-47.4	-57.9	-47.4	-52.6	-57.9	-68.4	-78.9	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-73.7	-42.1
	非製造業	-31.5	-26.3	-42.1	-31.6	-36.8	-63.1	-73.1	-78.9	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-73.7	-42.2
	全 業 種	-31.6	-36.8	-50.0	-39.4	-44.8	-60.6	-71.1	-78.9	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-73.7	-42.1

情報連絡員報告総括表(令和2年9月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製業	食料品	1	0	1	0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1		
	繊維工業	1	2	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3		
	木材・木製品	2	1	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	1	2	1	0	4	0	1	3	0	0	4	0	0	3		
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0		
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0		
	化学ゴム																												
業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1		
	鉄鋼・金属	1	0	1	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1		
	一般機器	1	0	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1		
	電気機器	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
	輸送用機器																												
	その他																												
非製業		19	8	4	7	1	15	3	1	16	2	1	18	0	3	11	5	2	17	0	4	13	2	0	19	0	2	10	7
		100%	42.1%	21.1%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	94.7%	0.0%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	89.5%	0.0%	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	52.6%	36.8%
	卸売業	2	2	2	2	3	1	0	5	1	0	6	0	1	4	1	0	5	1				0	5	1	0	3	3	
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
	商店街	1	0	3	1	1	2	0	2	0	2	0	3	1	0	1	3	0	1	3			0	3	1	0	1	3	
	サービス業	2	1	2			0	3	2	1	0	4	0	1	2	2	0	4	1				0	5	0	1	3	1	
造業	建設業	1	0	0			0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0			0	1	0	0	1	0	
	運輸業	1	1	0			0	2	0	0	2	0	2	0	1	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	
	その他																												
		19	8	4	7	3	5	3	0	14	5	1	17	1	3	9	7	0	13	6			0	17	2	1	11	7	
業		100%	42.1%	21.1%	36.8%	25.0%	41.7%	25.0%	0.0%	73.7%	26.3%	5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	47.4%	36.8%	0.0%	68.4%	31.6%			0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	
		38	16	8	14	4	20	6	1	30	7	2	35	1	6	20	12	2	30	6	4	13	2	0	36	2	3	21	14
	100%	42.1%	21.1%	36.8%	12.9%	64.5%	19.4%	2.6%	78.9%	18.4%	5.3%	92.1%	2.6%	15.8%	52.6%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	7.9%	55.3%	36.8%	

情報連絡員報告総括表(令和2年9月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向 (前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	0	1	1	0	1	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1
	繊維工業	0	0	3	0	1	2	0	2	1	0	3	1	0	3	1	0	2	0	1	2	0	2	1	0	1	2
	木材・木製品	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	1	3	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	2
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	出版・印刷	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	1	1	0	0	0	2
	一般機器	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
非製造業	輸送用機器																										
	その他	19	0	4	15	0	13	5	1	17	1	3	15	2	9	8	2	8	0	11	8	1	12	6	0	5	14
		100%	0.0%	21.1%	78.9%	0.0%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	15.8%	78.9%	10.5%	47.4%	42.1%	0.0%	57.9%	42.1%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	26.3%	73.7%
	卸売業	1	2	3	1	3	2	1	4	1	0	6	0	0	4	2	0	4	2			0	5	1	0	3	3
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1			0	1	0	0	0	1
	商店街	0	0	4	1	1	2	0	2	0	2	2	0	0	4	0	0	4				0	1	3	0	0	4
	サービス業	1	1	3			2	3	0	3	0	3	2	2	1	2	0	3	2			0	4	1	0	2	3
	建設業	1	0	0			0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
	運輸業	0	0	2			0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1				0	2	0	0	0	2
	その他																										
業		19	3	4	12	2	5	4	3	12	4	0	14	5	12	0	9	10				0	14	5	0	5	14
		100%	15.8%	21.1%	63.2%	16.7%	41.7%	33.3%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	73.7%	26.3%	10.5%	26.3%	63.2%	52.6%				0.0%	73.7%	26.3%	0.0%	26.3%	73.7%
		38	3	8	27	2	19	9	4	25	9	1	31	6	27	2	18	18	0	11	8	1	26	11	0	10	28
		100%	7.9%	21.1%	71.1%	6.5%	61.3%	29.0%	10.5%	65.8%	23.7%	2.6%	81.6%	15.8%	7.9%	21.1%	53.3%	47.4%	0.0%	57.9%	42.1%	2.6%	68.4%	28.9%	0.0%	26.3%	73.7%